

基本 目標	コー ド	指標名	担当課等	計画 目標値 (R3年度)	R1年度			R2年度			R3年度			是正計画 (R3.5作成)		監視項目 (155項目) 中の 遅れ気味・遅延の施策
					目標値	実績	目標 達成	目標値	実績	目標 達成	目標値	実績	目標 達成	原因	是正計画	
④ 豊かで快適な環境の創造	41	市民一人当たりの都市公園面積 (都市計画区域内) (㎡)	公園緑地課	9.19㎡	7.75	7.75	○	7.82	7.82	○	7.87	7.86	○	新規開設に向け予定した事業は年度内に完了し、新年度に供用開始できる状況で、実質的に目標は達成している。		全24項目 (遅れ気味 なし)
	42	市内中小河川9河川の水質階級 (点)	環境保全温暖化対策課	11点以下	11	10	○	11	10	○	11	11	○			
	43	景観やまちなみが美しい地域である (%)	都市政策課	62.2%以上	60.2	56.6	×	61.2	60.5	×	62.2	59.6	×	景観賞・ながの百景の景観啓発活動、市民団体による景観向上やまちなみ保全の活動は各地で行われているが、全体的な関心の高まりが不足している。	景観賞の募集や、景観賞・ながの百景の景観啓発活動として、パネル展示、SNSの活用、パンフレット配布等を拡充するほか、更なる市民団体による景観向上やまちなみ保全の活動を支援していく。	
⑤ 低炭素社会の実現	51	温室効果ガス年間排出量 (t-CO2)	環境保全温暖化対策課	1,878,400 t-CO2	*1,959,300 (H28)	2,205,391 (H28)	×	*1,943,100 (H29)	2,217,441 (H29)	×	*1,926,900 (H30)	2,038,780 (H30)	×	電力等の消費エネルギーは前年度に比べ減少したものの、電力の排出係数 (電力1kWhあたりどれだけのCO2を排出しているかを示す) が依然、基準年 (H17) と同様に高く、目標に至らなかった。	特に温室効果ガス排出量の占める割合が高い事業所・家庭に向けた省エネ行動につながる啓発を継続して進めるとともに、再エネ・省エネの支援策を構築し、温室効果ガス排出量の削減を図る。また、事業所向け温暖化対策支援サイト、小・中学生に配布する環境情報紙などを通じて、低炭素行動を促すための情報発信を行う。	全40項目 (遅延 2項目) ・森林の計画的な保全・整備・活用の推進 ・森林体験の促進 ※再掲
	52	市民一人1日当たりの温室効果ガス排出量 (kg-CO2)	環境保全温暖化対策課	14.08 kg-CO2	*14.34 (H28)	16.01 (H28)	×	*14.29 (H29)	16.22 (H29)	×	*14.24 (H30)	15.00 (H30)	×	電力等の消費エネルギーは前年度に比べ減少したものの、電力の排出係数 (電力1kWhあたりどれだけのCO2を排出しているかを示す) が依然、基準年 (H17) と同様に高く、目標に至らなかった。	「指標・目標コード51 温室効果ガス年間排出量」を人口及び日数で割った数値であるため、家庭のみならず、事業所に向けた低炭素行動を促すための啓発を継続しながら、再エネの活用や省エネを推進するための新たな支援策を構築し、温室効果ガス排出量の削減を図る。	(遅れ気味 6項目) ・公共施設の省エネルギー化の推進 エネルギー使用量削減量(前年度同量以下) →新型コロナウイルス感染症の対策を継続したまま、施設の利用制限等が緩和したことより前年度より増加した
	53	太陽光発電設備規模 (累計) (kW)	環境保全温暖化対策課	160,000kW	*130,000 (H30)	138,695 (H30)	○	*140,000 (R1)	145,316 (R1)	○	*150,000 (R2)	152,871 (R2)	○	FIT情報の公開時期により、R3年度実績は年度内集計となる。		・家庭での省エネルギー行動の啓発推進 ・事業者の省エネルギー活動の啓発推進 ・省エネ住宅・省エネビルの普及促進 ・省エネルギーに向けた全庁的な取組の促進 ・再生可能エネルギーの普及啓発の推進 センター主催の市民向け学習会、講習会等の開催数 →新型コロナウイルス感染症等の影響により、いくつかの講習会や学習会が中止になったため、開催回数が減少している。
	54	木質バイオマス燃料需要量の推計値 (t)	環境保全温暖化対策課	330,000t	280,040	278,424	×	304,212	254,305	×	275,175	237,993	×	ペレットストーブの新規導入が進んでいないこと。また、新型コロナウイルス感染症の影響等によって、薪の販売量が減少したため、目標値未達となった。	市内で新たにペレット製造を検討している事業者が出てきており、R4年度中には事業化計画・検討を進め、ペレットの普及促進を図り、市内の木質バイオマス燃料需要量増を目指す。(長野市バイオマス産業都市構想内、事業化プロジェクトとして推進) 薪については、販売者及び需要者の状況等を見ながら、推進を図っていく方法を検討する。	
55	再生可能エネルギーによる電力自給率 (発電設備容量) (%)	環境保全温暖化対策課	60.0%	*51 (H30)	51.8 (H30)	○	*54 (R1)	54.7 (R1)	○	*57.0 (R2)	56.4 (R2)	×	電力自給率は年々上昇しているものの、発電施設の増加が見込める太陽光において、増加率が例年に比べ低下したため、目標に至らなかった。	家庭や事業者へ太陽光発電設備の設置など普及展開しやすい情報提供や支援策を継続して進めるとともに、公共施設においてもPPA事業等計画的な導入を図り、再生可能エネルギーによる電力自給率の向上を図る。		
行政の市民・事業者と連携の推進	61	環境保全活動参加者数 (人)	環境保全温暖化対策課	4,700人	4,842	4,588	×	4,700	1,814	×	4,700	1,805	×	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の中止が相次ぎ目標達成には至らなかった。	環境保全活動を推進するため、新型コロナウイルス感染拡大の防止対策をしながら引き続きイベントの開催や各プロジェクトの活動を実施するよう努める。	全17項目 (遅延 3項目) ・学校教育等における環境教育・環境学習の推進 (3件) →新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、開催しないこととした。
	62	環境学習会年間参加者数 (人)	環境保全温暖化対策課 家庭・地域学びの課	5,200人	5,200	6,995	○	5,200	2,683	×	5,200	3,124	×	新型コロナウイルス感染防止対策により、募集人数の制限や三密を避けるなど対策の徹底を図りながら実施した。対策をとりながら実施したが、学習会の中止などがあったため、目標値を達成することができなかった。	引き続き、感染症対策を徹底しながら、環境に対する意識の向上を図るため学習会などを計画していく。	(遅れ気味4項目) ・NPO、事業者などへの支援及び協働体制の整備 ・企業の環境保全活動への支援 ながの環境パートナーシップ会議の会員数 →会費未納会員への対応を行ったため減となった 他2件

* 当該年度に報告できる実績に対する目標値

* 矢印については、計画策定時 (H27) における現状値から計画目標値に向けた時の
上昇 (↑)、下降 (↓)、維持 (→) を表すもの

22指標中
達成 11指標
未達成 11指標

22指標中
達成 10指標
未達成 12指標

22指標中
達成 8指標
未達成 14指標

155項目中 (内 再掲18項目)
順調・概ね順調: 123項目 (内 再掲16項目)
遅れ気味 : 20項目
遅延 : 12項目 (内 再掲2項目)